

2019年12月2日
 発行/日本共産党市議団地域版
 自宅/市川市須和田2-12-3
 fax 047-705-6018
 携帯 090-6310-3294
 メールアドレス
 shimizu@jcp-ichikawa.com
 Twittr:清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

清水みな子

あおぞらメール No.124

神戸市の公共交通について 建設経済常任委員会の視察



11月11日～13日まで、建設経済常任委員会の視察がありました。神戸市では「コミュニティ交通の取り組みについて」聞き取りを行いました。福山市では起業支援、瀬戸市では農業支援の取り組みを聞きました。

市川市では、新しく10月1日から、「ミニコミュニティバス北国分ルート」が走り始めました。地域の「コミュニティバスを走らせる会」が4年ほどの年月をかけ、地域アンケートも3回ほど取り組み、バスの位置をめぐり、市や警察、京成バスなどと何回もやりとりをして、実証実験にこぎつけました。

そこで、神戸市の公共交通の取り組み（3パターン）も参考にしたいと思いい、いろいろと聞いてきました。

①小型バス

34人乗りで距離によって運賃を決めています。大人160円～410円。自治協議会が実施主体となり、平日12便。1日42人の利用者数です。

*ここでの工夫

- ・1回乗車ごとにスタンプを1個押し、数を集めると地域振興券などと交換できる。
- ・企業広告 バス車内に企業広告を掲示する（6ヶ月1口2万円）
- ・バスダイヤに合わせ地域ふれあいセンターでイベント開催
- ・バスサポートクラブ 利用していない人も支えてもらうようサポートクラブを発足（一般1口年3千円、法人1口年1万円）

②ミニバン車両

6人乗り道路幅員が狭い住宅地 大人300円、小学生200円。塩屋コミュニティバスを走らせる会が主体となり、平日・土

曜18便（日中便11便、夜便7便） 1日72・7人の利用者数です。近く9人乗りに変更予定

*ここでの工夫

- ・近隣店舗とのコラボ 協力店舗で一定額以上買い物をした場合に利用促進券（乗車料100円割引券）を配布
- ・回数券の販売
- ・ファンクラブ 応援する個人・企業を募集（個人1口年千円、法人1口年1万円）

③自家用車での有償運送

予約運行 1回300円 実施主体と運行は淡河町地域振興推進協議会 平日運行（診療所便、帰宅支援便、幼稚園保育園便、曜日毎にグラウンドゴルフ便、ミニディサービス便、土日はお食事会便、福祉施設来訪者便）など用途に応じて便を決めています。

◇ ◇

このように各地域とも利用者促進に努力しています。北国分ルートの本格運行に向けて、地域や行政への取り組みも工夫していきましょう。

来年度の 予算要望書を提出

11月7日、来年度の予算要望書を提出しました。



1千通の市政アンケートの様々な要望を各常任委員会ごとにもとめ、84項目提出しました。当日は村越市長が公務で出られないため、大津総務部長に手渡ししました。

今回は、台風被害による住宅や農作物に対する支援策、防災・減災に向けた本市の取り組みについて、項目も多く取り上げています。市からの回答は後日、紹介します。

市長の政治姿勢を問う 公用車、新庁舎の階段設置問題

市長の公用車問題

11月18日に、テスラ社高級外車は、契約を解除し市役所には置いてありません。しかし、市長の法人が所有し、政務活動では乗るということを記者発表



者発表
してい
ます。

新庁舎の階段設置

20日午
前中に、

議員への内部見学会（写真上）が開かれました。

地下の駐車場、6階の議場や傍聴席、2階と1階をそれぞれ見学。すでに階段を設置する位置が決まっています。また、新聞報道では、すでに階段設置が決まりオープン

は再来年1月見出しに書かれています。20日午後には、市長からの説明もありましたが、何度聞いても納得できるものはありません。日本共産党は、階段設置に

西部地域後援会のバスツアー 11月4日 南房総地域へ



毎年、バスツアーを行っている西部地域後援会は、今年、南房総市へ行きました。写真は館山市の戦争遺跡「赤山壕」の内部です。子どもを含む39人が参加し、鋸山登山や台風被害を受けた道の駅「保田小学校」にも寄り、復興支援のお土産も買って帰りました。

反対し、来年度夏のオープンを主張しています。5ヶ月遅れる上に、1億5千万円の税金を使う必要はありません。

外環道路特別委員会が開かれました

11月8日、外環道路特別委員会が開催されました。委員会での質疑では、外環道路が開通してから1年4カ月が過ぎたが、「緑の道」にはなっていない。自転車と歩道の段差で事故が起きている。市内交通への影響で、交通事故の件数が市川市と松戸市が増えている。原因として外環道路の開通により、車の流れや渋滞する一般道が増えたことなどがあげられます。今後、環境測定、交通量



調査など行い公表していることになっています。

12月議会に向けて 市政懇談会ひらく

11月23日、12月議会に向けて「市政懇談会」を開きました。参加者から「台風ときの避難所開設」「ハザードマップの見直し」「免許返納時のバス回数券の配布」など要望が出されました。



無料法律相談

◎12月17日（火）
担当 岩橋進吾弁護士
午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分。
予約は清水又は控え室。

《主な活動報告 11月》

☆11月3日 市民まつりが盛大に開催

今年の市民まつりは、市内4カ所に分かれて開かれました。大洲防災公園では、開会式とバザール。江戸川河川敷の音楽フェス、市川駅南のゆうゆうロードでもイベントが開かれました。天気もよく、たくさんの市民が集いました。

☆11月14日 県議会報告と懇談会

9月定例県議会報告と懇談が県議会棟で開かれました。市町村議員と大衆団体の幹部の皆さんが参加。県議は2人ですが、2年に一度、決算委員会に出席できるという報告。加藤県議が今年の決算委員で職員減らしによるマンパワーの減少、県民の安心・安全が脅かされていることなど、県政のゆがみが報告されました。一般質問では、三輪県議が児童虐待防止、県内を襲っ

た一連の台風災害に対する対策などを報告。河川の氾濫被害にあった自治体からの報告や、自治労連からは現業労働者を減らしていることで台風対策にかかわれない実態が報告されました。

☆11月22日 映画「あの日のオルガン」上映会

終戦の前年、都内の保育所から、53人の子どもたちと保育士が埼玉県蓮田市で「疎開保育所」を開設し、運営していく実話。親と離れる寂しさをオルガンを弾いて一緒に歌い、励ます保育士の姿。東京大空襲によって家族が亡くなった事実を知らせなければならないことなどが描かれ、涙、涙の素晴らしい映画でした。

☆11月22日 「障害者アート支援！フォーラム」に参加しました

千葉県障害者芸術文化活動支援事業「協働ネットワーク」が結成されました。